

歴史的事象の意味を考える力を 高める指導の工夫

— 歴史学習ガイドを使った「なぜ型学習」を取り入れて —

長期研修員 笠原 隆

主題設定の理由

学習指導要領 第6学年の能力に関する目標

「**社会的事象の意味**をより広い視野から**考える力**(中略)を育てるようにする」

平成23年度 群馬県 学校教育の指針

「**問題解決的な学習過程**において(中略)**社会的事象の特色や意味**を資料に基づいて**考える活動を充実**」

児童の実態

目的や因果 「なぜ、そうしたのか？」

影響や役割 「どんな影響があったのか？」

歴史的事象の意味 について
「資料を基に考えるのは苦手だなあ・・・」

そこで

歴史的事象の意味を考える力を高めるために、児童の疑問を生かした「**なぜ**」で始まる学習問題を設定し、追究していく、問題解決的な学習が必要です。

それが

児童が、「**なぜ型学習**」を進めていく上で活用する、学習の手引です。

それが

歴史学習ガイド

- 問題の立て方
- 予想の立て方
- 予想について調べる項目
- 用語集
- 自分の考えのまとめ方 など

「なぜ型学習」

つかむ

「**なぜ**」で始まる学習問題の設定

追究する

検証の繰り返し

予想の**変更・修正** ↔ 根拠となる**事実の発見**

結果を意味につなげる力
資料から事実を発見する力

まとめる

検証結果の関連付け

既有知識を基にした予想が立つ

事実を基にした自分の考えをもつ

人物の行動の影響や役割が分かる

歴史的事象の意味を考える力が高まった児童

「なぜ型学習」の実践(第1時)

つかむ

ペリー来航に対し、緊迫した様子で戦いの準備をする幕府側の絵

黒船の甲板上で食事をしている幕府代表団とペリー一行の絵



戦いの準備をしていたのに、仲良く食事をしているのはおかしいなあ...

「なぜ」で始まる学習問題の設定

1 なぜ幕府は、戦わなかったのか

※学習問題は、児童によって若干表現が変わります。



抽出児童の最初の予想



ペリーの態度が強いから、戦うのをやめて、交流を深めたいと考えたから。



幕府は、ペリーの言うとおりに開国の方がいいと考え直したから。なぜなら、開国すれば、ほかの国との交流も増えているんな文化が取り入れられると思ったから。

追究する

検証の繰り返し

<資料>

- 大砲の数や射程距離比べ
- 黒船が蒸気船であること

根拠となる
事実の発見

予想の
変更・修正

抽出児童が記述した自分の考え

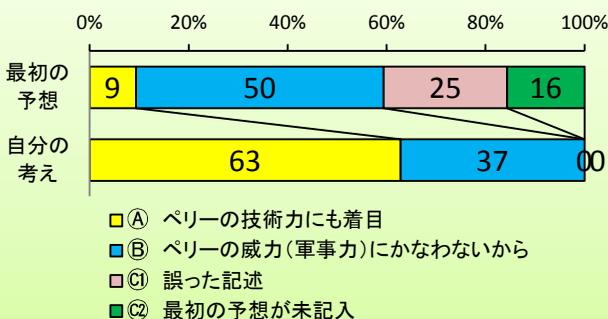


幕府は、アメリカの力にはかなわないと思って、戦わずに交流を深めたいと考えたから。



幕府は、戦ったら負けるだけだと思っていた。なぜかというアメリカは日本の何倍もの技術力を持っていたから。

最初の予想から自分の考えへの変化(学級)



歴史学習ガイド

問題を見付けよう



二つの資料を比べて気が付いたことをたくさん見付けましょう。

なぜ、これは

○○なのか？

なぜ、「人物」は

○○したのか？

例>なぜ、足利義政は銀閣を銀色にしなかったのか？



これが問題ね。

予想しよう



問題の答えを予想してみましょう。

「世の中の様子」が

○○だったから

「人物」が

□□と考えたから

例>義政は、地味なほうがよいと

考えたから。



これが予想ね！

歴史学習ガイドの基本文型を参考に、予想を立てる



予想について調べよう



予想の理由が、資料から発見できるか調べましょう。

どこから調べたか、ページを書いておきましょう。

世の中の様子

① ~が起っていた。(教科書P〇の年表△)

例>雪舟の水墨画、枯山水の庭、生け花など、さかんになった。

人物が何をしたか その結果

① ~が~をした。(教科書P〇の図△)

② ~になった。(資料No〇)

例>義政は、銀閣のほかに、東求堂をたてた。東求堂の書院造は、和室のもとになった

このことから分かったこと

例>どれも似たふんいき。現代まで伝わる日本らしさ。

あ	安政の大獄	あんせいの大いごく	幕府の長老、井伊直弼が幕府を非難した人たちをとらえてばった
い	一揆	いつぎ	自分たちの要求を通すために実力を使ったもの
	威力	いりよく	他をおさえつけ、言うことをきかせる強い力
う	打ちこわし	うちこわし	不正をはたらいたと見なされた者の家などをこわす行動のこと

「なぜ型学習」の実践(第2～5時)

2 なぜ西郷たちは、幕府を倒したのか

抽出児童Bの最初の予想と自分の考え

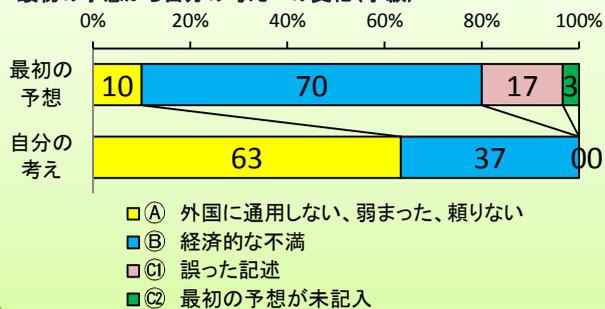
資料から、
根拠となる
事実の発見

西郷たちは、権利をうばって国を治めたいと考えたから。

予想の
変更・修正

西郷たちは、幕府中心では外国に通用しないし、幕府のやり方が気に入らなくて自分でどうにかしようと考え、幕府を倒した。

最初の予想から自分の考えへの変化(学級)



3 なぜ大久保たちは、2年も欧米を巡ったのか

抽出児童Bの最初の予想と自分の考え

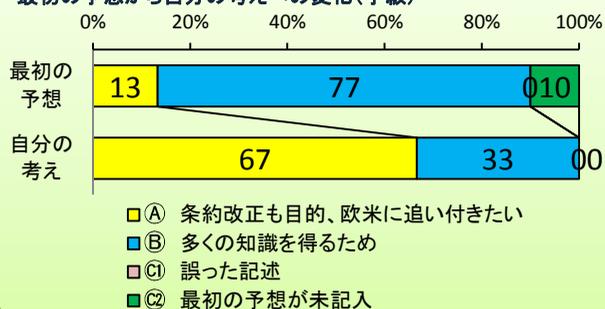
資料から、
根拠となる
事実の発見

大久保たちは、欧米の技術を取り入れようと思ったから。

予想の
変更・修正

大久保たちは、条約改正ができなかったが、2年かけて欧米を視察し、技術を得て帰国した。

最初の予想から自分の考えへの変化(学級)



4 なぜ、18年で急に欧米化したのか

抽出児童Bの最初の予想と自分の考え

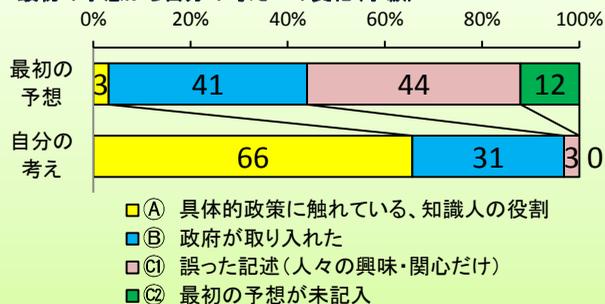
資料から、
根拠となる
事実の発見

欧米化したのは、外国との交流や貿易が始まったから。

予想の
変更・修正

ここまで急に欧米化したのは、西洋の知識をもっている福沢諭吉や明治天皇が西洋文明を取り入れたため、人々も興味をもち、急激に広まっていった。

最初の予想から自分の考えへの変化(学級)



5 なぜ政府は、富岡製糸場を建てたのか

抽出児童Bの最初の予想と自分の考え

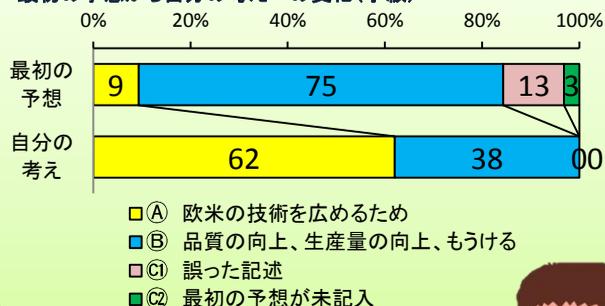
資料から、
根拠となる
事実の発見

政府は、たくさん糸を生産して外国に売り、お金を稼ごうと考えたから。

予想の
変更・修正

輸出が目的。そこで技術を学んだ人たちは、地元にもどり指導した。政府は外国に追いつきたいと考え、富国強兵を進めた。

最初の予想から自分の考えへの変化(学級)



資料から発見した事実を根拠とした自分の考えをもつ段階にまで、高まりました。



「なぜ型学習」の実践(第6時)

まとめる

検証結果の関連付け

6 明治政府は、どのような国づくりをめざしたのか

因果関係や共通点がないか、今まで記述してきた自分の考えを振り返る



ペリー来航がきっかけで、幕府に対する不満が高まって、大政奉還になった。これって因果関係だね。



明治政府の政策は、みんな欧米の技術を取り入れようとしているという共通点があるわね。

抽出児童Bが記述したまとめの文章

因果関係
共通点

ペリー来航で、幕府はその技術に圧倒され、開国し、貿易を始めた。

その結果

物価高で不満の声が上がる中、幕府のやり方が気に入らない西郷たちが幕府を倒し、江戸から明治になった。

明治政府中心の国づくり

欧米に学び、欧米の技術を取り入れ、欧米に負けない政策を行う。

このように

欧米の進んだ技術を取り入れ、欧米のような高い知識をもった国にしたいと考えた。

日本にペリーが来航し、幕府はその技術に圧倒され、開国し、貿易を始めた。その結果、物価高で不満の声が上がる中、幕府のやり方が気に入らない西郷たちが幕府を倒し、江戸から明治になった。明治政府中心の国づくりを行い、欧米に学び、欧米の技術を取り入れ、欧米に負けない政策を行う。このように、欧米の進んだ技術を取り入れ、欧米のような高い知識をもった国にしたいと考えた。

歴史学習ガイド

自分の考えをつなげよう



これまで考えてきたことをつなげてみましょう。

原因と結果の関係がないか、考えてみましょう。

共通点がないか、考えてみましょう。

〇〇した(原因)から、△△(結果)になったのね。

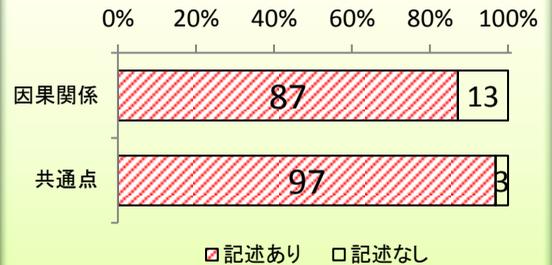
どれも□□(共通点)という目的だね。

この時代の〇〇したこと(原因)が、今の△△(結果)につながっているのね。



多くの児童のまとめの文章に、因果関係や共通点で関連付けた記述が、見られました。

関連付けた記述が見られる児童の割合



研究のまとめ

成果

- 「なぜ型学習」を行うことによって、児童は、資料から新たな事実を発見して、それを増やしていくと共に、事象同士の因果関係や共通点に気づき、歴史的事象がその時代に与えた影響や役割である歴史的事象の意味を考える力が高まった。
- 歴史学習ガイドは、児童が学習問題を設定し、予想を立て、その予想を、資料から得た事実を基に変更・修正する際の参考として役立つと共に、新たな事実を発見するために必要な語句の意味調べにも使えることが分かった。

課題

- 「なぜ」で始まる学習問題例と、その学習問題に児童の考えを導く資料の開発が必要である。
- まとめの文章が書けるような文例、歴史用語集の拡充など、歴史学習ガイドの改良が必要である。

問い合わせ先

群馬県総合教育センター
担当係 義務教育研究係

0270-26-9213 (直通)